

とうせい おか  
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

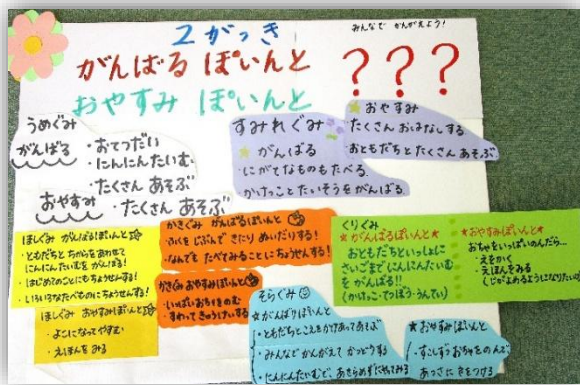
たよう しゅたいせい かんよう きょういく  
～多様な主体性を涵養する教育～

# あさがお



先月下旬の2学期始まりの日にみんなで話し合ったクラスの目標が決まりました。「頑張りポイント」「お休みポイント」この2点について子ども同士で考えてきました。話し合うことにも時間がかかり、なかなか意見がまとまらなかった場面もありましたが、こういった意見を出し合う経験も大切なことだと思います。その中で、自分の思いをどのように伝えればよいか、人の気持ちをどのように聴いて理解すればよいのかなど、学ぶことはたくさんあります。このような経験の積み重ねの中から、人の気持ちに気づく豊かな感性を身につけていきたいと考えています。

下記に子どもたちの目標を紹介します。



各年齢ならではの目標が出てきました。園玄関に掲示もしたので、ご覧ください。

読んでいただくと子どもたちの考えていることがとても楽しく、また目的をもって生活を送っている様子が分かります。

2学期に入り、親子でどちらが先に会った人に挨拶ができるかゲーム！をされていたり、「あさがお見つけた！」「ツクツクボウシが鳴いてる！」など、子どもたちの感性がひかっていたりして、毎日の成長が素晴らしいと感じています。

夏の生活表を活用して、生活習慣を整えました  
～お家の人と一緒に夏の経験を積み重ねて～

全園児の生活表を見させていただきました。1人1人の記録を見ていると子どもたちが始業式に伝えていたことがより分かりました。

このように夏季の間は、保護者の方が工夫をして子どもたちと一緒に生活リズムを整えてくださいました。目標をもって毎日を送る大切さを大事にしてくださっていたように思います。

そして、子どもたちが夏の間に、泳げるようになったり、お手伝いをするようになったりして成長を感じました。思い出の欄には、夏ならではの記録がたくさん記されていました。

ひとつひとつの経験が子どもたちの自信へつながります。楽しい夏の思い出をつくってくださりありがとうございました。



【3歳児】



【4歳児】



【5歳児】



5歳児による「さよならせんせい」  
～桃青の丘 15年の歴史に幕をおろし進化する～

桃青の丘が設立してから15年間続けてきた活動があります。5歳児の「さよならせんせい」です。5歳児が主役になり、1日の出来事や楽しかったこと、挑戦したことなどを自分の言葉で発表してきました。そこには、園の仲間、保護者の方、教師がその姿を見て、最後まで話を聴き応援しました。この経験で、5歳児は言葉で伝える力を身につけたり、自分の役割を達成することで自信をつけたりしてきました。園としても貴重な経験のひとつとして続けてきました。

しかし、近年の気候変動により、お帰りの時刻の気温が高いことや延長保育の利用者が増えたことなどの理由で長い歴史に幕をおろします。この活動は、園として終わりではなく、取り組みの方法を工夫し進化させて教育時間内で活動を続けています。

長い間、「さよならせんせい」の見守りとご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました♡

現在「表現活動」の方法を工夫しています。子どもの言葉は、子どもの心に届くものです。その中で、自分の思いを伝える方法を習得し、やがては他者とコミュニケーションを図る力へとつながります。

～今の時代にあった進化した取り組みへ～



【毎月の避難訓練で伝えあう】



【集いの中で、自信をもって語る】



【毎月の誕生会で話す】



日常生活の中、または、全園児の集う機会をとらえて、表現活動を大切にしています。日々の生活の中に今まで見てきた5歳児「さよならせんせい」の姿を各年齢に合わせて取り入れています。できなくなってしまうからあきらめるのではなく何を大切に、何をねらうかを考え、新しい方法を模索し実践することが大事なのではないでしょうか。これからも桃青ならではの文化を築いていきたいと思います。15年間ありがとう・・・。



【活躍した5歳児のみんな】



【応援し見守ってくださった保護者のみなさん】

今まで保護者様のご協力のもとで活動が長年続いてきた取り組みです。

また、子どもと教師の信頼関係の中で、対話ができ、安心して他者に自分の思いを伝えるという営みができました。これまでの取り組みは、変わることもあるかもしれませんが、培ってきた園の文化は絶やすことのないように職員が団結して教育活動を行っています。

桃青の丘の新たな文化も築いていけるようにいろいろな挑戦をしていきたいと考えます。

卒園されたみなさまにも感謝を申し上げます。